

# 読書のすゝめ

その23 H29 10/6

## 観覧車？

副技師小室さんと菅原さんが素晴らしい展示台を作ってくれました。



ストーブの収納庫をお願いしていたのですが、上部に観覧車のように文庫本を入れて回転する、楽しく機能的な展示台を作ってくれました。木材には丁寧なやすりがかけられ、柔らかい手触りになっていきます。楽しいアイデアと細部まで手の込んだまさに「作品」です！

早朝から放課後も遅くまで、一日中、学校内外の仕事で忙しい合間に、利用する生徒が楽しく使えるようにと館内に展示台や掲示板を整備してくれています。

今回の観覧車！ぜひそのすばらしさを見に、そして、気になる一冊を選びに図書館に足を運んでください。



ストーブ収納庫



回転させながら選書



## ノーベル文学賞・・・【カズオ・イシグロ】

文学の分野において理念をもって創作し、最も傑出した作品を創作した人物に授与される賞ですが、今回長崎県出身の日系イギリス人作家でロンドン在住の《カズオ・イシグロ》氏が受賞しました。

授賞理由は「偉大な感情の力をもつ小説で、我々の世界とのつながりの感覚が不確かなものではないという、底知れない淵を明らかにした」ということです。

1989年に長編小説『日の名残り』でイギリス最高の文学賞ブッカー賞を受賞しています。2005年『わたしを離さないで』はキアラ・ナイトレイ主演で映画化され、日本でも蜷川幸雄により舞台化、さらに昨年綾瀬はるか主演でテレビドラマ化されましたので、「あれね！」と思った人もいるかも知れません。

図書館で所蔵していますので、この機会にぜひ読んでみてください。

## 『わたしを離さないで』(ハヤカワ文庫)



自他共に認める優秀な介護人キャシー・Hは、提供者と呼ばれる人々を世話している。キャシーが生まれ育った施設ヘールシャムの仲間も提供者だ。共に青春の日々を送り、かたい絆で結ばれた親友のルースとトミーも彼女が介護した。キャシーは病室のベッドに座り、あるいは病院へ車を走らせながら、施設での奇妙な日々を思いをめぐらす。図画工作に極端に力をいれた授業、毎週の健康診断、保健官と呼ばれる教師たちの不思議な態度、そして、キャシーと愛する人々がたどった数奇で皮肉な運命に……。彼女の回想はヘールシャムの驚くべき真実を明かしていく――